

101-147

問題文

公的医療保険制度に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 国民皆保険制度が成立したのは、昭和30年代である。
2. 国民健康保険の保険者は、国である。
3. 最も加入者が多いのは、後期高齢者医療制度である。
4. 全国健康保険協会管掌健康保険は、被用者保険である。
5. 生活保護受給者は、国民健康保険に加入する。

解答

1, 4

解説

選択肢 1 は、正しい選択肢です。

選択肢 2 ですが

健康保険の保険者は、市町村です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

「加入者」が一番多いのは国民健康保険です。ちなみに、二番目に多いのが協会けんぽ（旧政府管掌健康保険。中小企業サラリーマンが入る健康保険。）です。また、一番予算が多いのは、後期高齢者医療制度です。よって、選択肢 3 は誤りです。参考）（厚生労働省のHPへ）

選択肢 4 は、正しい選択肢です。

被用者とは、サラリーマンのことです。

選択肢 5 ですが

生活保護受給者は、健康保険を脱退します。加入する、ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,4 です。